



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2017 **4** 月号
Vol.74
毎月1回発行(通巻74号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F TEL.03-5296-1933 http://www.JMMPA.jp/



お話をうかがった清水氏(左)と柴田氏。2人が中心となって資格取得を推進してきただけに、医療経営士に対する思い入れも強いという

少子高齢化に伴う社会保険費の増大など外部環境の変化により、各医療機関が地域完結型医療の実現を目指し、機能分化や連携強化

を進めています。そうしたなか、MRに求められる役割も変わらざる得ない状況になってきています。地域完結型医療において

これからの地域医療で求められるMRの新たな資質とは

3月5日(日)に実施された第20回「医療経営士3級」資格認定試験は2245人が受験し、過去最多の受験者数を大きく更新した。その背景には、武田薬品工業株式会社をはじめとする製薬企業からの受験者拡大がある。武田薬品工業において医療経営士の資格取得を推進してきた営業戦略部フィールドマネジメントグループ主席部員の柴田和典氏と課長代理の清水聡氏に、なぜMR(医薬情報担当者)に医療経営の知識が必要なのかについてお話をうかがった。

チームリーダー以上の全社員に「医療経営士」の資格取得を推進 武田薬品工業に聞く MRの新たな使命と人材育成



患者さんは、病状に合わせてさまざまな病院・診療所を受診します。MRは、医師や薬剤師に対し、自社医薬品の適正使用の推進や副作用情報の収集・提供を行いつながり、患者さんの治療に貢献することを最大の使命としています。多様な

医療機関の多様な課題を把握し、的確な情報提供ができるMRを育成

組織として資格取得を推進しはじめたのは、2015年4月頃からです。事前になわれ2人で「医療経営士3級」資格認定試験にチャレンジし、試験のレベルやテキストの内容を把握したうえで、同年10月の第16回3級試験から本格的に受験をスタートしました。

当初、MRの育成に有用な資格を探していくなかで、医療経営士以外にも医療機関の経営やマネジメントに関するものがいくつかありました。ただ、われわれは医療機関のコンサルタントをしたいわけではなく、医療の第一線がどのような課題を抱え、どのよう

する患者さんの受診の流れが把握できなければ、その使命を果たすことが難しくなってきました。これまでのように個々の医療機関だけを見るのではなく、介護施設まで含めた地域ごとに異なる医療提供体制を把握することが重要で、そのためには医療政策の方向性や医療制度、診療報酬の動向をはじめとする経営知識が不可欠になってきます。そこでMRの人材育成の一環として着目したのが、医療経営士の資格取得でした。

医療経営士 3級 2級 資格認定試験

受験エントリー
まもなく開始!!

4月10日
月から!

同僚や
知り合いの方に
ご紹介ください

医療経営士 資格認定試験 日程

試験日 **6月18日**
2017年

受験エントリー期間 **4月10日月~5月10日水**

受験料支払締切日 **5月15日月**

	第21回「医療経営士3級」	第13回「医療経営士2級」
受験料 <small>※手数料別途</small>	8,640円(税込)	15,400円(税込) 3級取得者 13,400円(税込) 分野受験者 (分野合格者)
受験資格	年齢、学歴、国籍等の制約はありません	3級資格認定試験合格者かつ、 本会正会員
試験会場 (予定)	札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・ 大阪・広島・高松・福岡・鹿児島・沖縄	札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・ 大阪・広島・高松・福岡・沖縄

団体受験 ◇受験者10名を超える場合、団体としてまとめてお申し込みできます。
◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。※審査があります



多くのMRが地域医療に欠かせない存在になってほしいと話す清水氏

な情報を必要としているかを的確に把握することが資格取得の目的です。MRが医療機関の経営側の視点に立つためには、医事課職員や事務長、院長が抱える課題の本質に共感できることが重要であり、そのため医療機関のなかの経営人材を対象としている医療経営士が最もふさわしいと考えました。

また、社内の認定制度や研修ではなく、第三者機関が認定する資格制度を利用することで、社員の育成の

チームリーダー以外のメンバーが自主的に資格取得に取り組み

現状、全国の二次医療圏を担当する責任者（チームリーダー）以上の全社員に資格取得を推進しています。チームリーダーの役割は担当エリアのヒト、モノ、情報のマネジメントになります。メンバークラスを動かすためには地域の実情をより深く把握しなければなりません。2月末現在、

度合いを公平に評価するとともに、その過程や成果を社外に「見える化」するという狙いもありました。資格取得者は名刺に「医療経営士」と記載しています

が、「医療経営に関する知識がある」との認識を外に広めていくことで、医師との面談機会の増加にもつながります。実際に資格を得た社員からは、「ベースとなる知識が体系的に整理できた」「診療報酬改定の内容がより深く理解できるようになった」といった知識面の向上に関する意見のほか、「いままで会えなかった先生に会えるようになった」との声も上がるなど、さまざまな成果が出ています。

100人以上のチームリーダーが資格を取得しており、早い段階での目標達成を見込んでいます。

一方で、こうした社内での動きに反応し、チームリーダー以外のメンバーも自主的に資格を取得しています。エリアによっては全メンバーが取得しているなど、すでにその合格者数は

3000人を超えました。資格取得を推進してきた立場としては、多くの社員が自己研鑽を重ね、地域医療に貢献しようという組織風土が醸成されていることを感慨深く感じています。

ただ、われわれがチームリーダー以上のマネジメント層に求めているのは、試験の合格ではなく、MRが地域医療に欠かせない存在になるために必要な知識やスキルを習得することで

資格はあくまできっかけでしかない 医療界全体の発展に貢献したい

こうした取り組みはきっかけづくりでしかありません。医療経営士の試験に合格したチームリーダーが今後、資格取得の成果をどのように活かしていくかは、個々のキャリアビジョン次第だと考えています。

知識を深掘りし上位資格を目指す方向もあれば、最低限の知識レベルを補完しただうえで、他の専門性を追求する選択肢もあると思います。全国各地で開

催されている医療経営士の支部研究会に参加したり、全国医療経営士実践研究会において演題発表にチャレンジするの

もいいでしょう。地

す。逆に言えば、資格がなくても相応の知識があれば良いと考えていて、そのため医療経営に精通した外部の講師を招き、定期的に開催している社内の勉強会も受験対策のためのものではなく、あくまで実践的な知識の向上、スキルアップを目的としています。医療経営士に取り組むことを決めた段階で、そこだけは明確にしようとして2人で決めました。

域医療をテーマに演題発表するMRが現れば、業界に与えるインパクトも大きいと思います。

すでに当社だけでなく、多くの製薬企業が医療経営士の資格取得に動き出していると聞いています。こうした動きが製薬業界全体に広がり、MRの資質向上につながることで、医療界がより良い方向に発展していくことを期待しています。

組織として、担当する医療機関へのアクセスを途切れさせないことが重要だと語る柴田氏



組織として、担当する医療機関へのアクセスを途切れさせないことが重要だと語る柴田氏

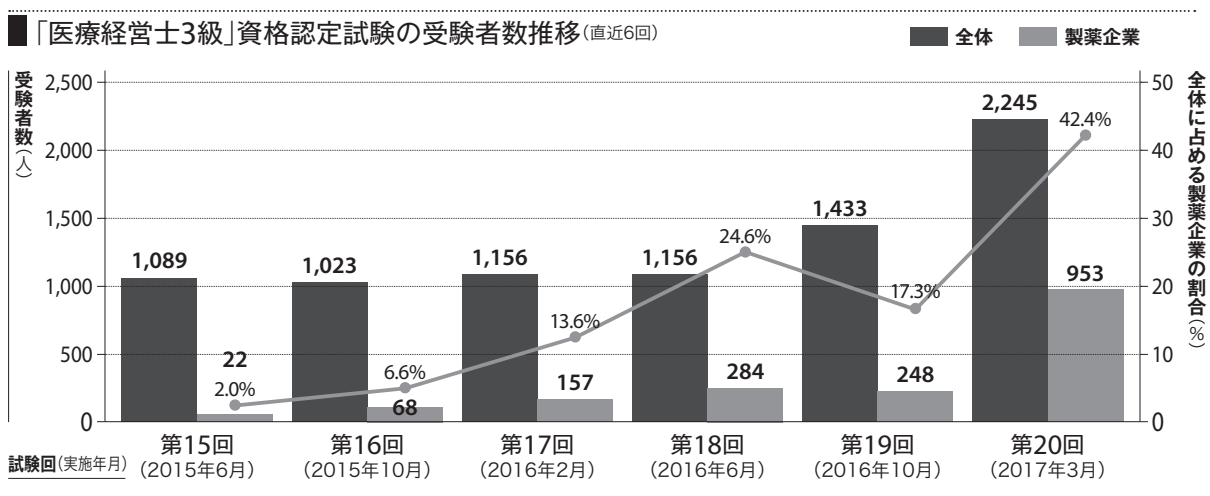
LOSE UP 製薬企業における「医療経営士3級」資格認定試験の受験動向

3月5日（日）に実施された第20回「医療経営士3級」資格認定試験では、全体の受験者数2,245人に対し、製薬企業からは953人（全体の42.4%）が受験した（図）。過去試験における製薬企業の受験者数を大きく上回った背景には、複数の製薬企業が人材育成の一環として、MRに医療経営士の資格取得を推進しはじめたことがあ

る。協会には、法人・個人双方から多数の問い合わせが寄せられており、今後も製薬企業からの受験者は増加することが予想される。3月10日現在、医療経営士が在籍する主な製薬企業は一覧のとおり。MRからの資格取得が拡大することで、医療経営士のさらなる認知度向上、支部研究会の活性化などが期待される。

医療経営士が在籍する主な製薬企業（五十音順）

- アステラス製薬
- エーザイ
- 小野薬品工業
- キッセイ薬品工業
- 協和発酵キリン
- 沢井製薬
- 塩野義製薬
- シミックホールディングス
- 第一三共
- 大正製薬
- 大日本住友製薬
- 武田薬品工業
- 田辺三菱製薬
- 中外製薬
- 日医工



医療経営士 実践テキストシリーズ6

これからの医療政策の論点整理と 戦略的病院経営の実践

緊急
発刊!



井上貴裕

(いのうえ・たかひろ)

千葉大学医学部附属病院院長企画室長・特任教授、日本赤十字社本社医療施設教育研修アドバイザー。武蔵野赤十字病院や君津中央病院、山形県立中央病院等の地域中核病院の経営アドバイザーを務める。主な著書に『医療経営士・中級テキスト専門講座1 診療報酬制度と医療収益 [第3版]』（日本医療企画）など多数がある。

編著者に聞く、執筆の狙いと実践に向けた知識の深め方

近年、診療報酬の実質マインスマイク改定や消費税の負担増などを背景に、病院の財務状況が悪化の一途を辿っています。高齢化や医療技術の進歩等によって国民医療費が増大し続け、医療費抑制が政策の柱になっていくことが要因です。質が高く、効果的で効率的な医療提供体制を継続していくには、限りある医療資源を適切に配分することが不可欠で、えてして医療機関に痛みを強いることとなります。

2018年は診療報酬と介護報酬の同時改定があり、25年に向けて重要な方向性が提示されることがほぼ確実です。特に過剰と試算されている急性期入院医療で大きな変革を迫られる可能性が高く、7対1入院基本料やICU、総合入院体制加算などが厳格化されていくはずですが、当然、政策が変われば、現場の行動も変わってきます。病院経営に携わる者は本格化する医療制度改革の方向性を十分に理解し、自院の戦略を練り、舵取りをしていくことが求められます。

急性期中心にルール変更
迫られる戦略の転換

自院への搬送数が減少しているのではないのでしょうか。特に16年度診療報酬改定でA項目に救急搬送後の入院が加わった影響は大きいと言えます。

このように環境下で医療提供側としてどのような施策を打つことができるでしょうか。地域の医療需要は限られていくので、まずは競合医療機関との差別化を図り、少しでもシェアを獲得しようという発想が必要

病床数の大胆な絞り込みで
筋肉質な経営体質の実現へ

「見える化」を武器に
組織をどう動かすか

本書は編著者である私が

雑誌連載したものをベース
に大幅な加筆・改筆・再編
を行いました。加えて医療
政策の方向性については厚
生労働省の現役および元医
系技官に寄稿してもらい、
さらに経営の中枢にあって
医療現場で日々格闘してい
る院長や院長補佐の方にも
執筆してもらいました。こ
れから重要となる医療政策
の論点整理を行い、病院経
営の事例を交えながら、戦
略的な病院経営を推進して
いくために不可欠な戦略・
処方箋をまとめました。

ここで重要なことは、知識として知っているだけではダメで、組織をどう動かすかという目的に応じてデータを選別・駆使して「見える化」し、自分の言葉として組織のメンバーを説得できなければなりません。組織にはさまざまな価値観をもつ多種多様な職種が集まっていますので、コミュニケーション能力の高さが求められます。また、ときに黒子役もあれば、司令塔もやるといった柔軟な対応力・行動力も問われます。

「経営に王道なし」と言われるように、唯一絶対の方法はありません。それぞれの個性の違いを踏まえながら、共通して必要とされるスキルを磨き続けていっていただきたいと思っています。

2025年に向けた
経営課題解決の
ための「次の一手」を
どう打つか

医療経営士 必携! 日本医療経営実践協会推薦図書

医療経営士 実践テキストシリーズ6

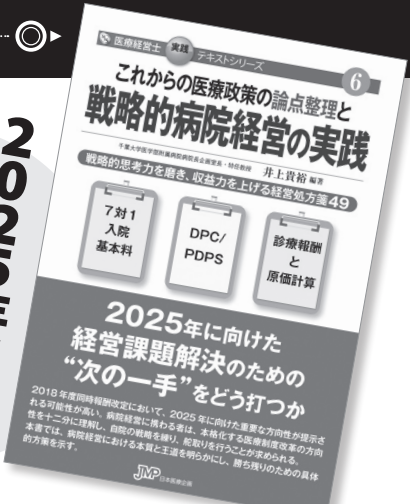
これからの医療政策の論点整理と 戦略的病院経営の実践

戦略的思考力を磨き、
収益力を上げる
経営処方箋49

主な内容

- 【第1章】地域医療構想等、医療政策の行方
- 【第2章】病院経営を取り巻く環境と戦略的経営の推進
- 【第3章】7対1入院基本料等の絞り込み
- 【第4章】高度急性期機能に関する論点
- 【第5章】DPC/PDPSにおける論点
- 【第6章】外来診療機能をどう考えるか

●編著者：井上貴裕(千葉大学医学部附属病院院長企画室長・特任教授) ●A5判/並製/2色/304ページ
●定価：3,240円(税込) → 会員価格：2,592円(税込)



事務局 掲 示 板

～日本医療経営実践協会からのお知らせ～

2017年度試験ポスターが完成
医療経営士の認知度アップに
協力していただける会員の方を募集!

2017年度「医療経営士」資格認定試験のポスターが完成しました。職場やお取引先などでポスターを掲示し、「医療経営士」の認知度アップにご協力いただける会員の方を募集しています。

ポスターをご希望の方は下記お申し込みアドレスへ「医療経営士ポスター希望」とタイトルをつけ、お名前、所属先、所属部署、肩書き、送付先住所、電話番号、必要枚数をご明記の上、ご連絡ください。ポスターは枚数に限りがあるため、ご希望の枚数を調整させていただきます場合がございます。皆様のご応募をお待ちしております。

【お申し込み】
E-mail:
info@jmmpa.jp



支部活動に参加してレベルアップを図ろう!

PICK UP 研究会

4/22 東海支部

第3回岡村医療経営塾

患者さんが生活をするためのお金について考える会

医療経営士が自主的に運営・活動する東海支部静岡県東部医療経営研究会は、患者さんの療養や生活にかかわるお金をテーマに第3回岡村医療経営塾を開催する。講師は社会福祉士、介護支援専門員、AFPの田中賢司氏、居宅介護支援センター久根管理者の荒井俊彦氏、岡村記念病院地域連携室、社会福祉士の三橋晶一氏、メットライフ生命ファイナンシャルプランナーの野田敏博氏の4人が務め、それぞれ医療・介護費の支払いや医療費相談の事例、老後の生活設計などについて解説する。

- 日時
4月22日(土)13:00~15:00
- 会場
岡村記念病院4階カンファレンス室
(静岡県駿東郡)
- 参加費(税込)
無料
- 問い合わせ先
岡村記念病院地域連携室内
岡村医療経営塾運営事務局
TEL:055-973-3221

5/13~ 関東支部

第5期「経営人材育成 中村塾」(全5回)

株式会社日本医療企画は、当協会参与で、公益社団法人医療・病院管理研究協会常任理事の中村彰吾氏が塾長を務める第5期「経営人材育成 中村塾」を開催する。中村塾は、病医院経営の中核を担う人材から好評を博し、第4期までの入塾者数が100人を突破している。第5期では、塾長による白熱講義のほか、新たな試みとして、塾生が自院の経営課題や仕事上の悩みなどを発表し、その発表内容をもとにグループワークを行う「中村実践道場」を実施。ともに考え、ともに悩み、アイデアを出し合いながら課題解決スキルを磨いていく。

- 日時
5月13日(土)/6月10日(土)/7月8日(土)/
8月5日(土)/9月9日(土)
各回13:00~17:00(懇親会:17:00~18:30)
- 会場
日本医療企画もとみやセミナールーム
(東京都千代田区)
- 参加費(税込、懇親会別途)
会員:3万円/非会員5万円(全5回)
- 問い合わせ先
株式会社日本医療企画(担当:三浦、江島)
TEL:03-3256-2863

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
4月15日(土)	九州 (主催:日本医療企画)	医療広報塾 4日目(全4回)	水内純清氏(元・読売新聞社会部、整理部記者、元・スポーツ報知編集部長、元・社会医療法人天神会・古賀病院グループ広報部長[久留米市]、東アジア日本語教育・日本文化研究会副会長[文学博士])
	関西	坪ゼミ「医療・介護現場の問題解決法」 第3回(全4回)	坪茂典氏(社会医療法人愛仁会本部介護福祉事業部長、社会福祉法人愛和会本部統括部長)
4月22日(土)	東海	第3回岡村医療経営塾 「患者さんが生活するためのお金について考える会」	田中賢司氏(社会福祉士、介護支援専門員、AFP) / 荒井俊彦氏(居宅介護支援センター久根管理者) / 三橋晶一氏(岡村記念病院地域連携室、社会福祉士) / 野田敏博氏(メットライフ生命ファイナンシャルプランナー)
	九州 (主催:日本医療企画)	経営企画と広報を考える会 4日目(全4回)	秋吉裕美氏(製鉄記念八幡病院経営企画室・係長)
5月13日(土)	関東 (主催:日本医療企画)	第5期「経営人材育成 中村塾」 第1回(全5回)	中村彰吾氏(公益社団法人医療・病院管理研究協会常任理事、一般社団法人日本医療経営実践協会参与)
5月20日(土)	関西	坪ゼミ「医療・介護現場の問題解決法」 第4回(全4回)	坪茂典氏(社会医療法人愛仁会本部介護福祉事業部長、社会福祉法人愛和会本部統括部長)
6月10日(土)	北海道	北海道支部2周年記念セミナー	川淵孝一氏(東京医科歯科大学大学院教授)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください



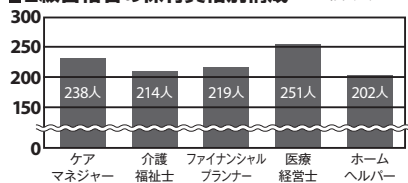
地域包括ケア時代のキーパーソン

「介護福祉経営士」資格認定試験のご案内

医療経営士とW取得者急増中!!

成長産業として注目を集める介護福祉業界で、2013年に誕生した「介護福祉経営士」。過去11回の「介護福祉経営士2級」試験では1,196人が合格しました。そのうち金融機関・医療機関勤務者が約3割を占め、さらに、医療経営士とのダブルライセンス取得者は現在251人になりました。あなたも、医療経営と介護経営の双方に明るい人材となって、活躍の場を広げませんか?

■2級合格者の保有資格別構成 ※重複あり



試験日程
2017年度

- 7月9日(日) 第13回 2級
- 11月12日(日) 第14回 2級
- 第4回 1級
- 2018年
- 3月18日(日) 第15回 2級